

活動名称 (40字以内)	医学と平和		
団体名等	医学系研究科国際地域保健学教室		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		5 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/1(木) ~ 8/8(木)	主な活動場所	カンボジア
	8 日間		
目的	カンボジアにおいて、紛争がもたらした保健制度破壊とその後の復興について学ぶ		
具体的な内容 (800字程度)	<p>カンボジアでは1970年代、紛争の影響で多くの人々の命が失われた。医師をはじめとするエリート層も虐殺された。首都プノンペンにあるツールスレイン博物館の場所だけとってみても、1975年から78年の4年間で2万人もの人々がそこで虐殺された。もともとは高等学校の教室だった場所が今は博物館となっており、そこを訪問するだけでも、紛争の様子をありありと学ぶことができる。しかし、問題はそれだけではない。紛争は人々を虐殺するだけでなく、国の諸制度をも破壊した。保健制度がその一例である。そのためカンボジアでは未だに保健制度に不備があり、必要な保健サービスが国の末端まで十分届かずにいる。</p> <p>そのような背景のもとで、カンボジアでは保健制度、施設、人材をどのように整備してきたか、そしてどのような医療サービスが現在提供されているか？世界保健機関(WHO)事務所、プノンペン市内や郊外の病院、さらには地方の保健センターを訪問することによって、カンボジアの医療の現在を学び、今後の在り方について深く考える機会を得る。特に、公立病院見学時には、現場での衛生管理水準や健診活動などについて、観察に基づく改善点の発見と病院長へ改善提案の機会をもつ予定である。</p> <p>さらに、医療以外にも、参加者の関心に応じて、健康と福祉水準向上に取り組んでいるNGO活動の現場を見学する予定である。</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A型肝炎、破傷風の予防接種を推奨する。</li> <li>・採択後、何度か開かれる打ち合わせに参加出来ること。</li> </ul>		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	航空券 80,000 円 宿泊費 30,000 円 (交通費等) 20,000 円 ( ) 円 計 130,000 円	交通費(航空運賃)は概算。その他カンボジア国内移動費(車両借り上げ)などで一定額の負担が発生する。	
		奨励金額	35,000 円
ウェブサイト等	大学院医学系研究科国際地域保健学教室: <a href="http://www.ich.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.ich.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		